

(資料)



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

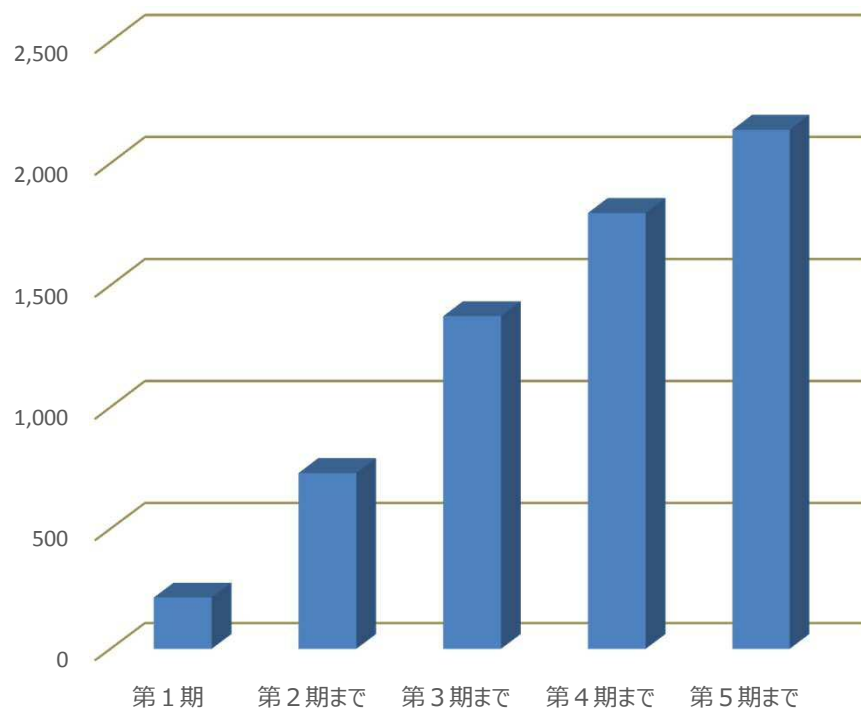
かわさき健幸福寿プロジェクト これまでの取組み結果

令和3年4月1日

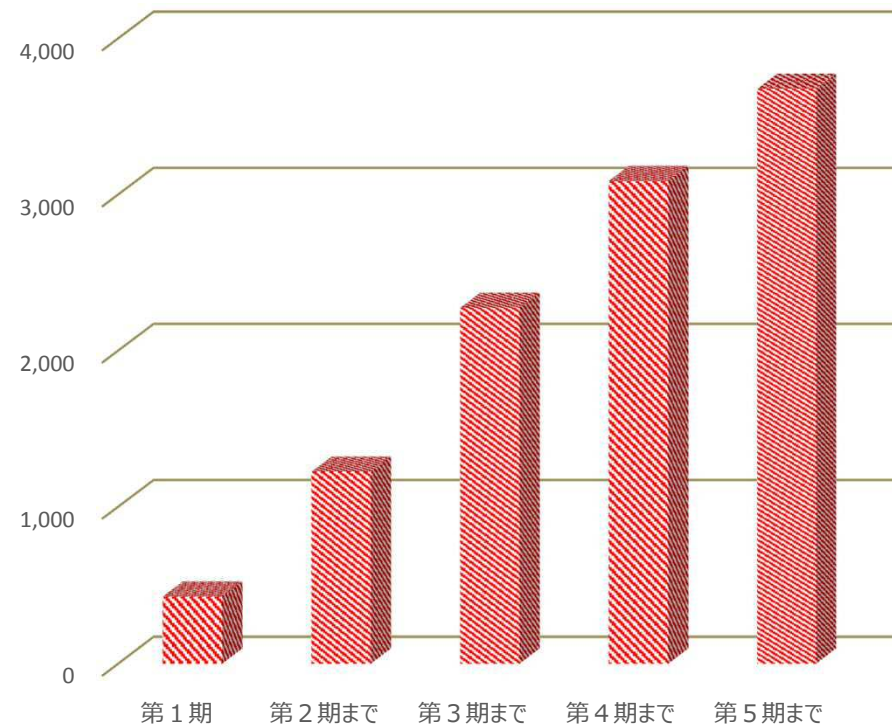
川崎市健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

参加利用者数・参加事業所数

参加利用者数（累計）



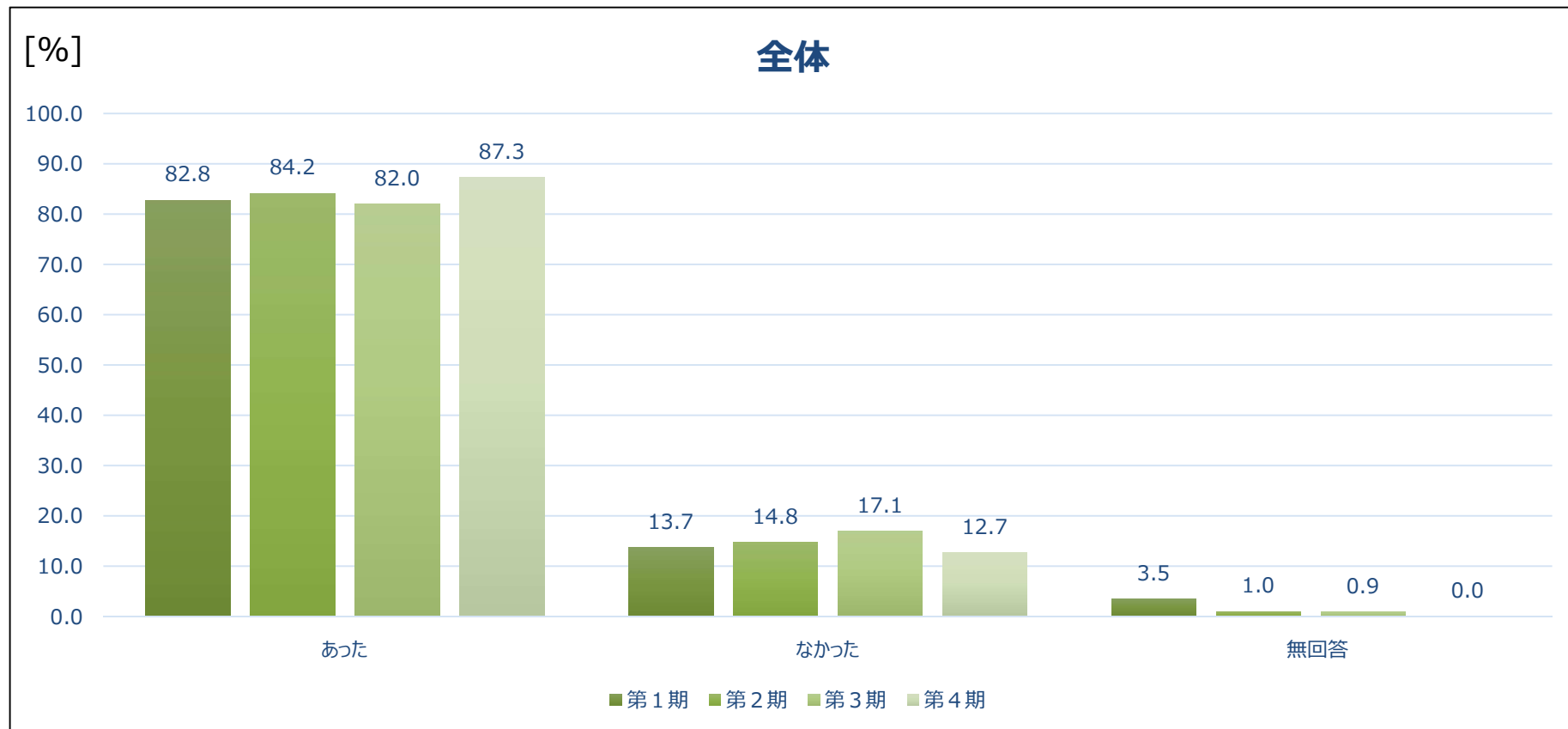
参加事業所数（累計）



平成28年7月から事業の本格実施をスタートし、第5期までに累計で約**2,100名**の介護サービス利用者、約**3,600事業所**にご参加いただいております。

参加事業所へのアンケート結果①

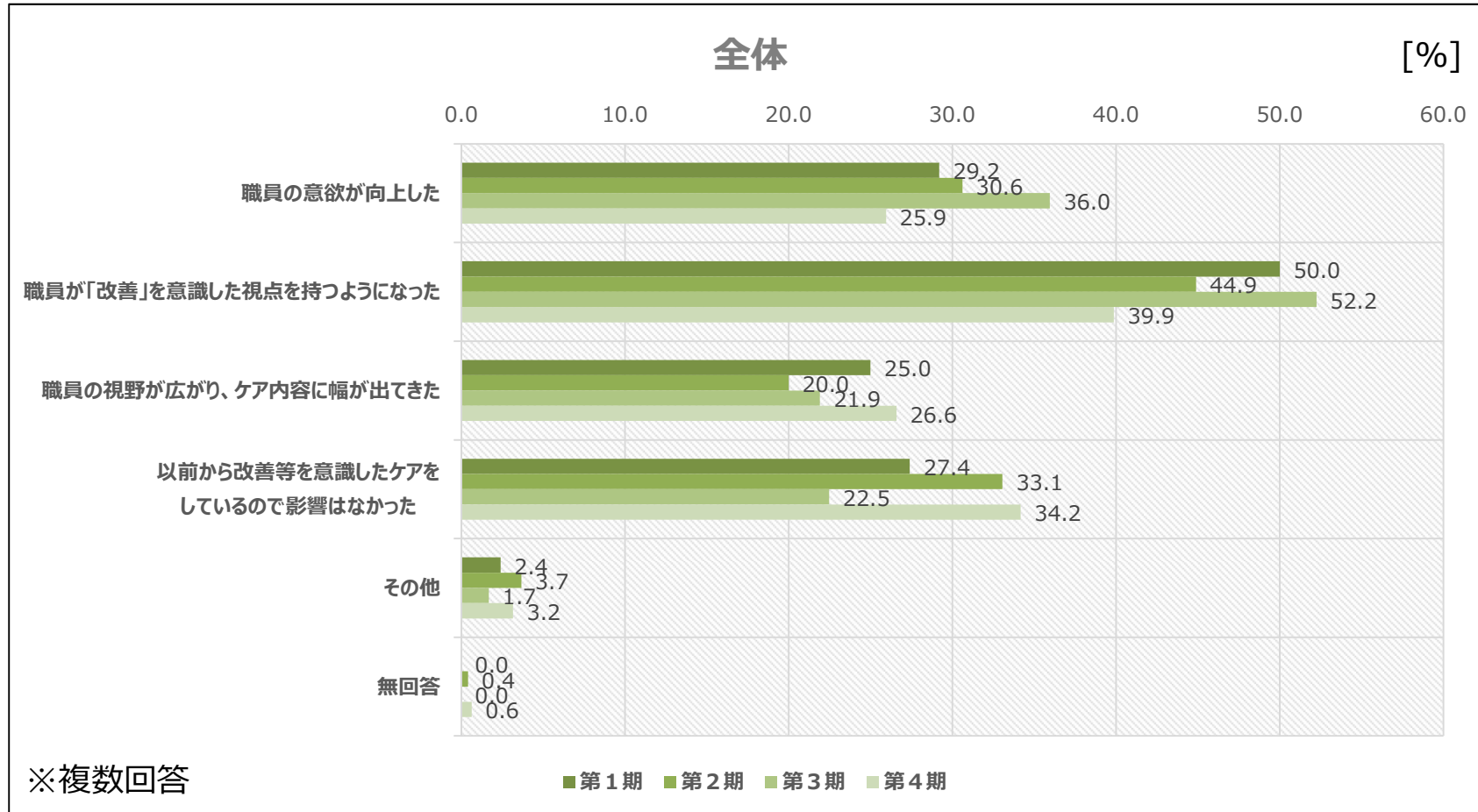
◆プロジェクトに参加したことによる事業所へのプラス面の影響



参加いただいた事業所のうち、全ての期において80%を超える事業所からプロジェクトに参加したことによって何らかのプラス面の影響があったと回答いただいております。

参加事業所へのアンケート結果②

◆プロジェクトに参加したことによる事業所へのプラス面の内容

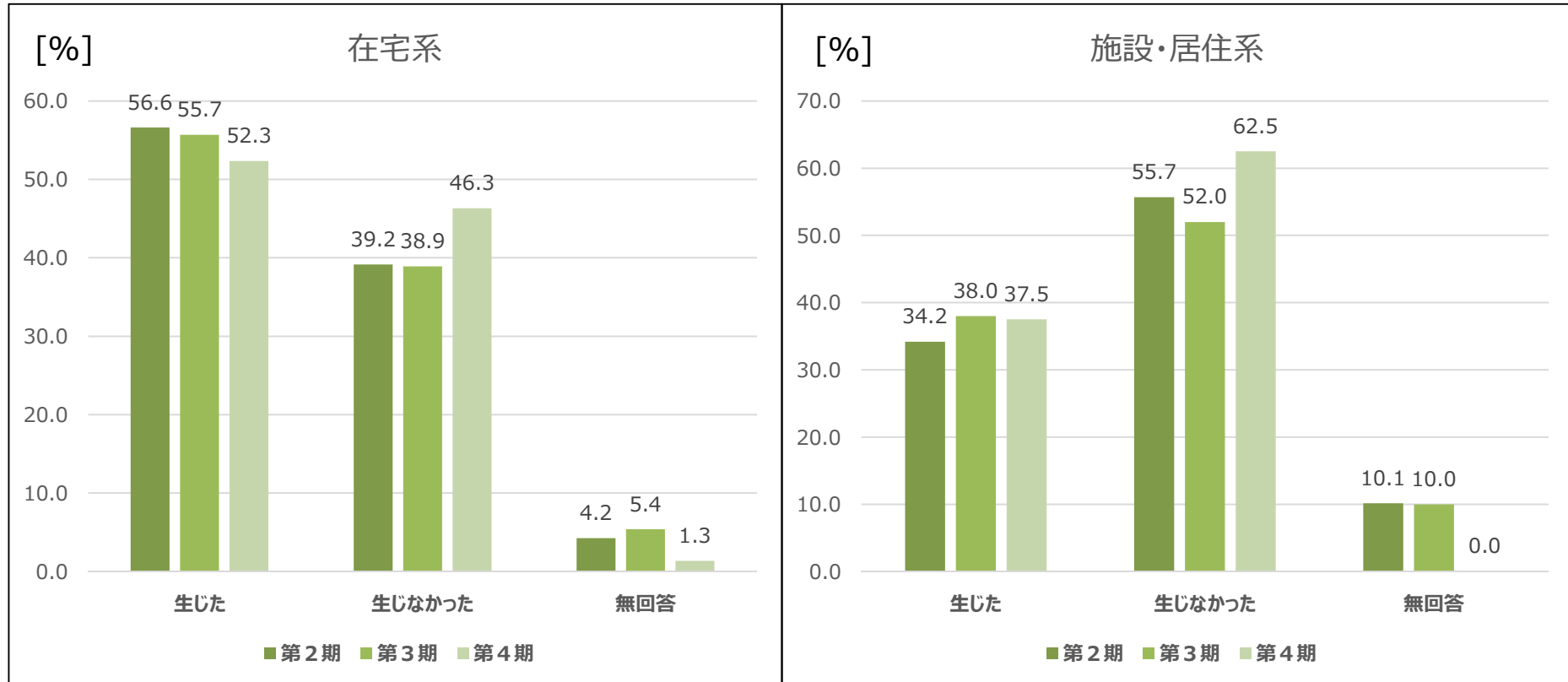


全期において「職員が改善を意識した視点を持つようになった」という回答が約50%となっており、「職員の意欲が向上した」という回答が期を追うごとに上昇しています。

参加事業所へのアンケート結果③

◆プロジェクト参加による多職種連携についての変化

※第2期以降調査実施

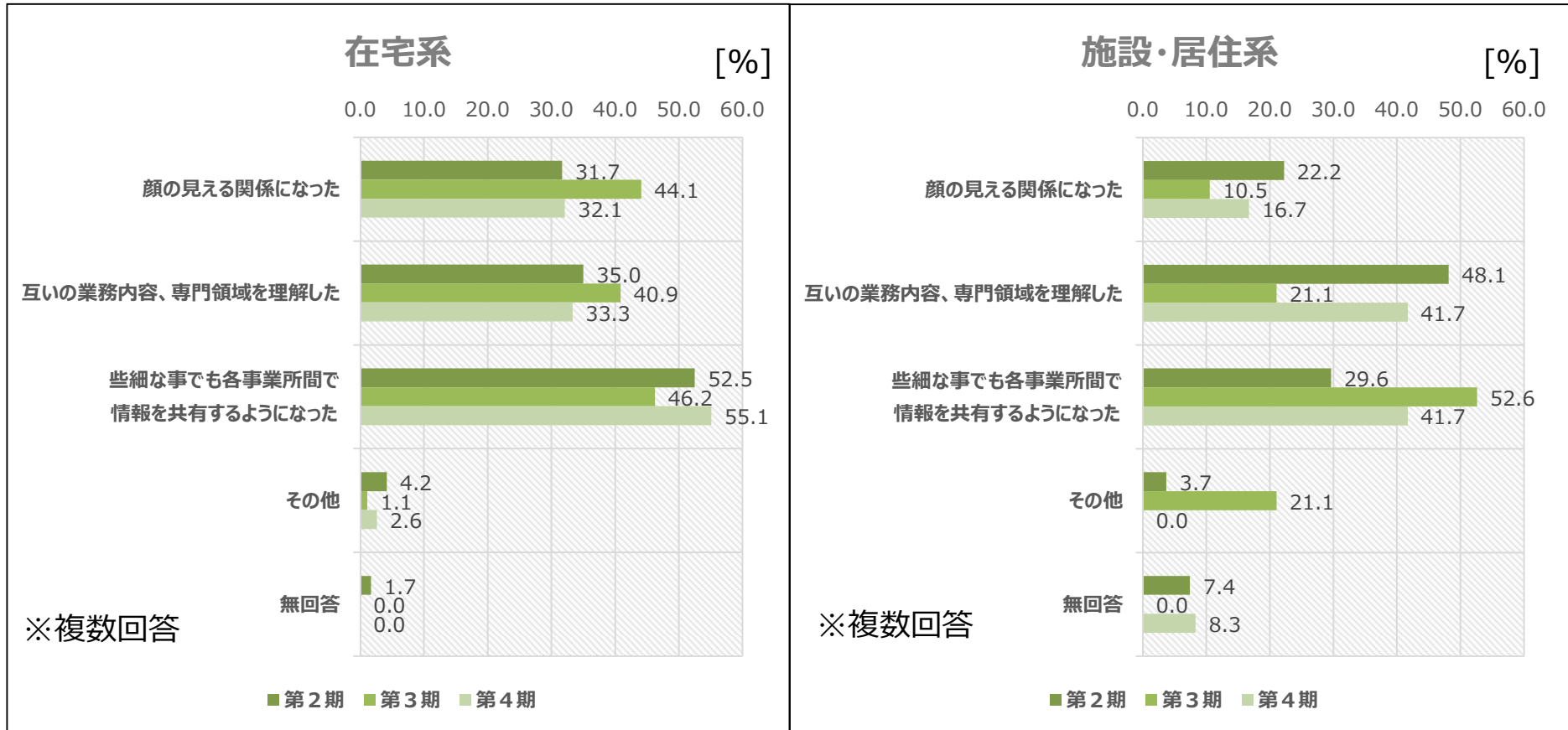


在宅系については約50%の事業所において、多職種連携に関して変化が生じています。施設・居住系については、在宅系と比較すると変化が生じたとの回答は少ないものの、約30%の事業所において、変化が生じています。

参加事業所へのアンケート結果④

◆プロジェクト参加による多職種連携についての変化内容

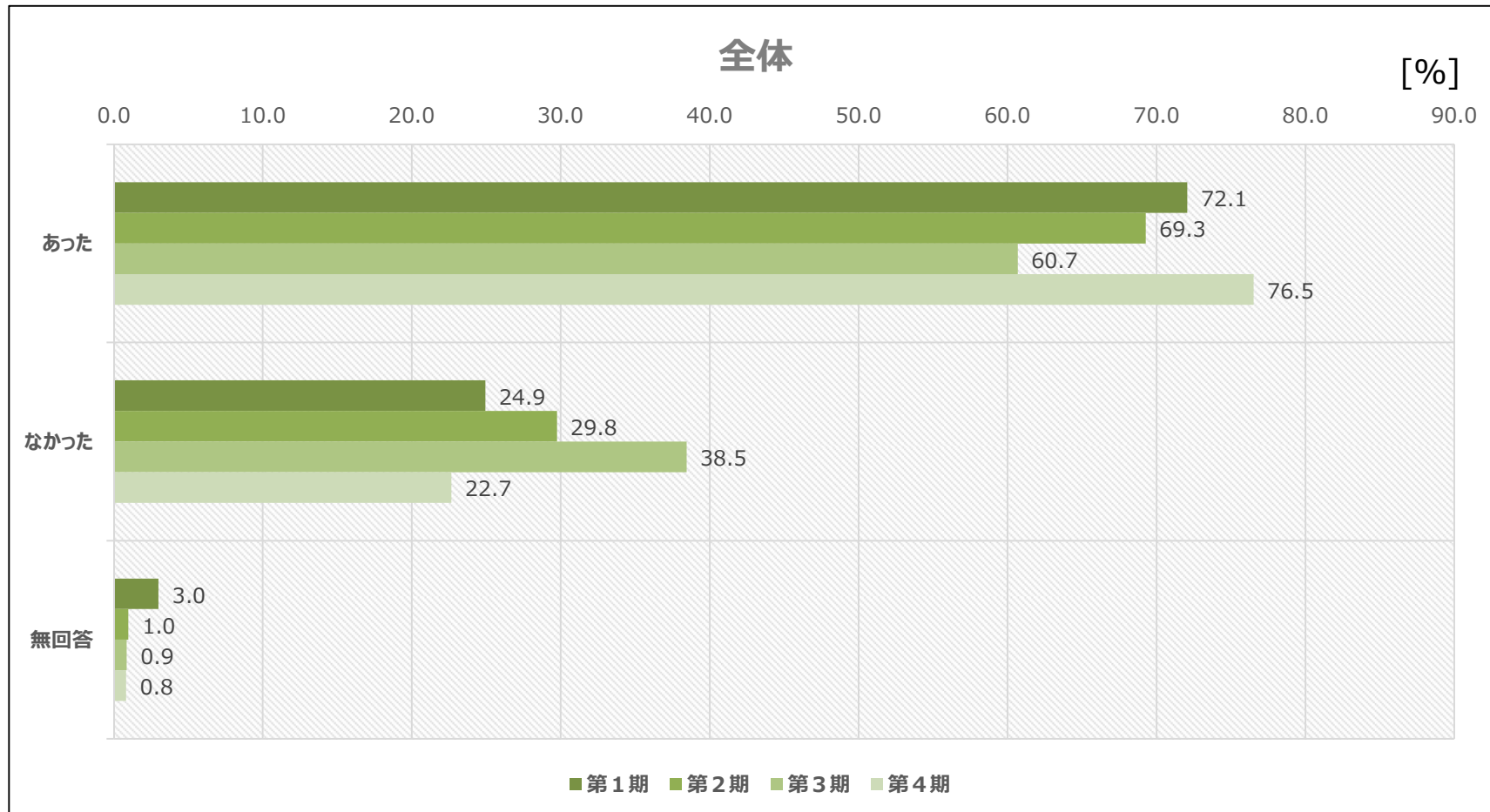
※第2期以降調査実施



在宅系については、プロジェクト参加により事業所間での情報共有が図られた事業所が約50%で最も多く、施設・居住系については、在宅系と比較し、互いの業務内容、専門領域を理解したという事業所が多い結果となっています。

参加事業所へのアンケート結果⑤

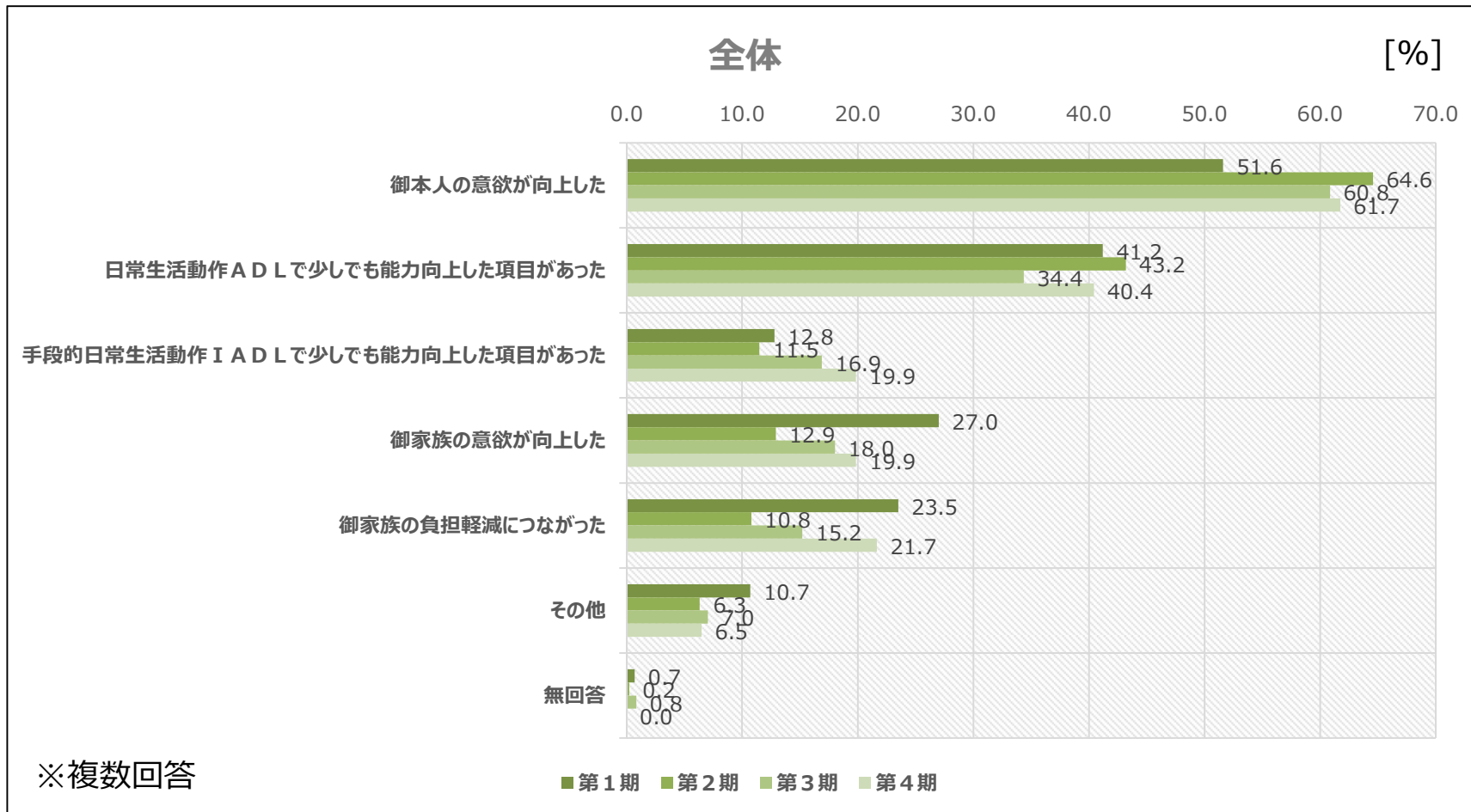
◆事業所から見た利用者・家族プラス面の有無



全体においても、全期において、60%以上の事業所が利用者・家族のプラス面の変化を感じています。

参加事業所へのアンケート結果⑥

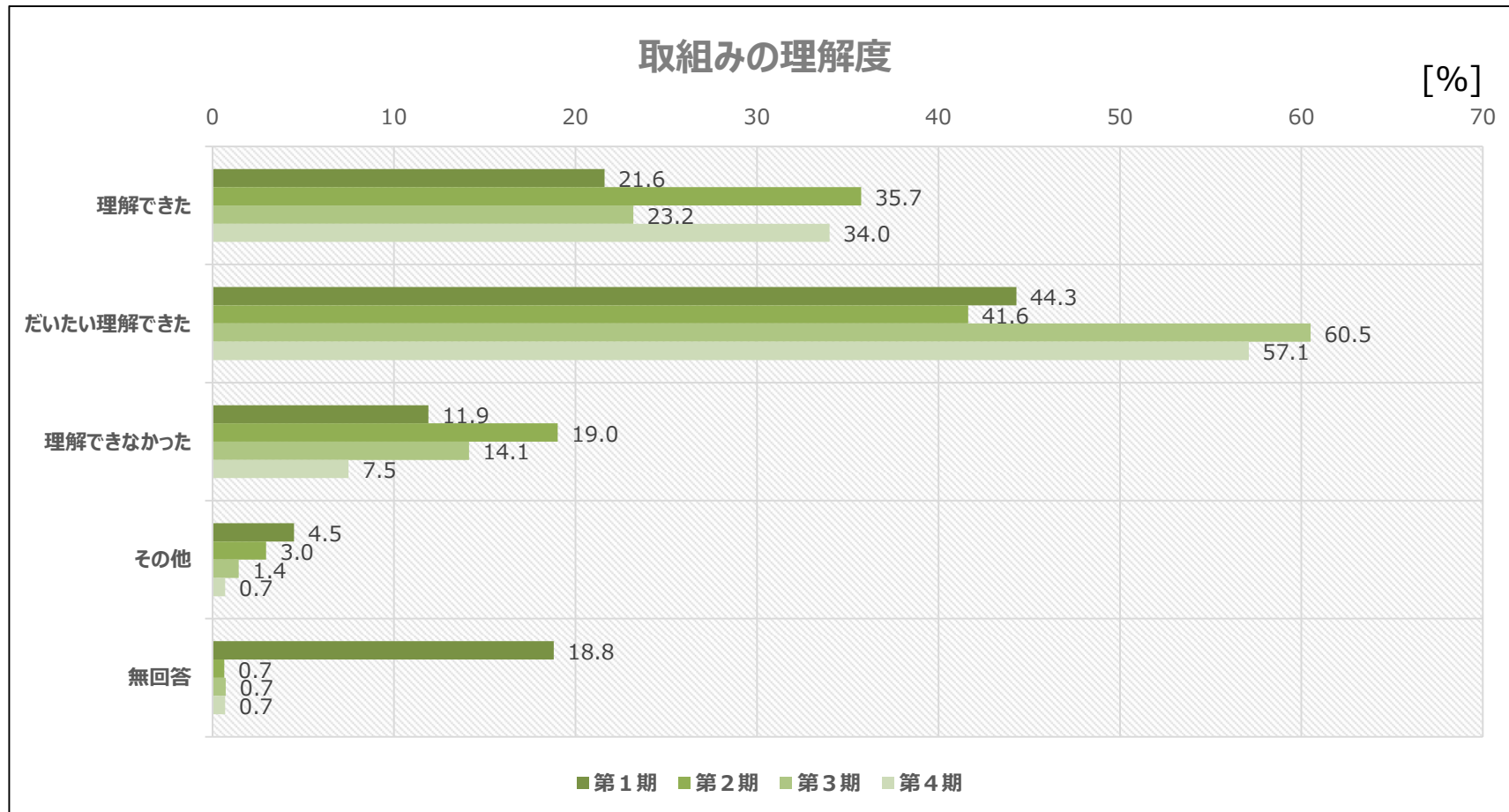
◆事業所から見た利用者・家族プラス面の内容



ご本人の意欲が向上したとの回答が50%以上となっています。

参加利用者・家族へのアンケート結果①

◆利用者・家族のプロジェクト取組み趣旨に対する理解度

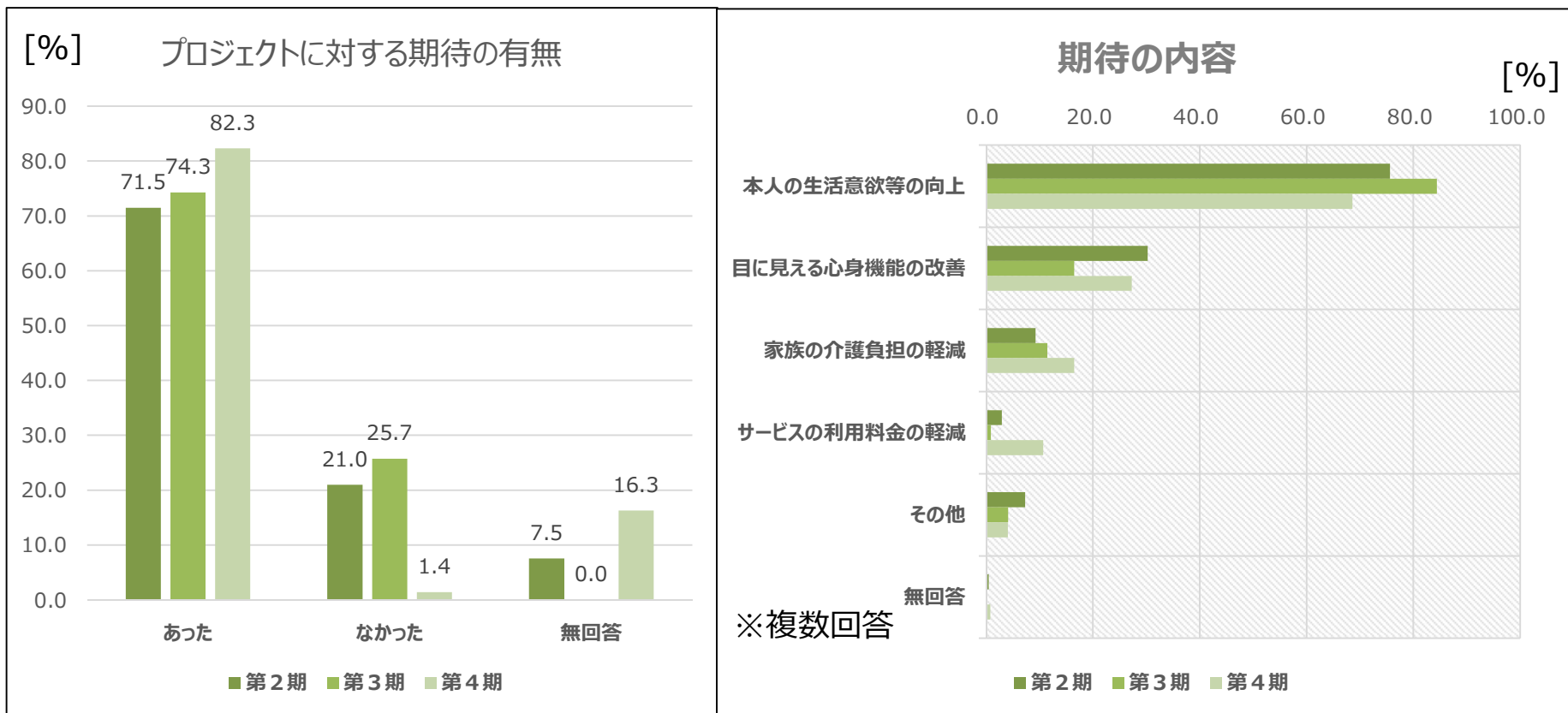


プロジェクトの趣旨についての理解度は、期を追うごとに上昇しており、4期では、「理解できた」と「だいたい理解できた」の合計が90%を超えています。

参加利用者・家族へのアンケート結果②

◆家族のプロジェクトに対する期待

※第2期以降調査実施

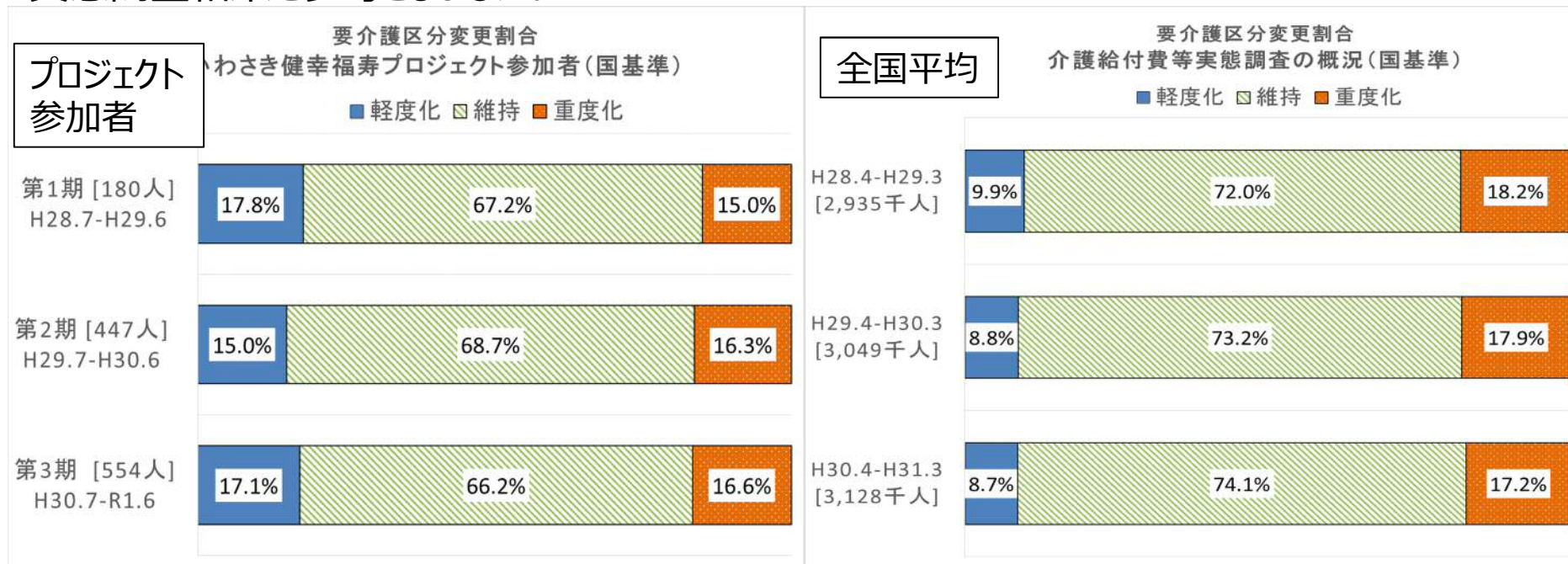


プロジェクトに対して「期待があった」という回答は、期を追うごとに上昇しており、第4期では80%以上が期待を感じている。その内容については「本人の生活意欲等の向上」が最も高い割合でした。

要介護度軽度化率等について全国平均との比較

◆第1期-第3期 改善率・維持率の比較（全体）

プロジェクト参加者における維持を国が定義する維持に置き換え、プロジェクト参加者と全国平均との改善率等の比較を行いました。全国平均は、例年、厚生労働省より公表される介護給付費等実態調査結果を参考としました。



3期を通じて、軽度化率はプロジェクト参加者が全国平均より上回っており、また重度化率について全国平均より下回っています。

